



国会速報

- 第154通常国会 -



編集・発行 = 部落解放同盟中央本部 tel 03-3586-7007 fax 03-3585-8966

人権擁護法案に異議あり！！ 大衆的なとりくみで、抜本的修正を求めよう

法案に異議あり

抜本的修正を求め最大限の努力を

「異議あり！ 人権擁護法案 緊急アピール行動」を4月23日午後、東京・全共連ビルでおこなった。これは、「部落解放基本法」制定要求中央実行委員会が主催したもので、「人権擁護法案」をこのまま成立させることはできない、抜本的修正を求める立場の国会議員、メディア、人権NGOの代表100人が参加した。

法案の問題点を指摘する関川夏央さん



国会での情勢が報告された後、民主党、社民党の国会議員の代表について、日本新聞労働組合連合、人権フォーラム21、日本ペンクラブの代表がそれぞれの立場から抜本的修正、反対の意見を表明、参加者一同で「緊急アピール」を採択した。

開会あいさつで組坂繁之・実行委副会長は、法案の抜本的修正を求め最大限の努力を積み重ねるが、それがだめなら断固反対の腹を固めざるを得ない、と訴えた。情勢報告にたった高橋正人・事務局長は、参議院先議で連休明けには法務委員会での審議が始まる、との日程を示し、院内外で大衆的とりくみで世論を作り抜本的修正を求めている、と行動をよびかけた。

畑衆・新聞労連委員長、山崎公士・人権フォーラム21事務局長、関川夏央・日本ペンクラブ人権委員会委員長が、それぞれ法案の問題点を指摘し、ともにとりくみをすすめることを明らかにした。

抜本的修正にむけ協力を要請

「人権擁護法案」の趣旨説明が、4月24日午前、参議院本会議でおこなわれ、民主党の福山哲郎・議員が代表質問をおこなった。これで参議院法務委員会での論議が始まることになる。

こうした情勢を受け、23日午前、衆議院第2議員会館で組坂委員長、高橋書記長は民主党の中野寛成・部落解放推進委員長、江田五月・党法務NC(ネクストキャビネット)大臣、社民党の中西績介・部落解放運動推進委員長と会い、部落解放同盟の「人権擁護法案」にたいする見解を説明するとともに、野党が法案の抜本的修正を求める立場から結束することを要請した。

要請を受けた両党は、政府案の大綱として作成した民主党の大綱をもとに修正案を作成するなど、自由党にも働きかけながら院内で活動することを約束した。

部落解放同盟第59回全国大会

とき 2002年5月8日 午前10時～

ところ 福岡県・福岡県勤労青少年センター
福岡市早良区百道2-3-15